

1 活用する力の育成を意図した本時の展開

※昨年度（平成23年度）の研究授業のKJ法による授業整理会で改善点や授業構成のキーワードとして出された意見を□に記述。

	児童の動き	教師の手立て
事前	○予習：自分の考えを持って授業に臨む	○教材分析：例示・手本・見本を
つかむ	○課題を知る ・既習と本時との相違に気づく （課題をつくる・確認する） ・本時に関連づける既習を思いつくり見通し・解決の方向性をもつ ↓	○既習を活かす場を意図的に設定した課題の提示 ・「既習を活かせないか」の問いかけ ・既習を想起させる掲示物・具体物・キーワード ・既習をふりかえることができるノート指導 ・既習にたちかえる児童の発言のとりあげ
考える	○自力解決する ・既習と関連づける ・自としてノートに自分の考えを表現 「考えて書く」「書きながら考える」 友だちに伝える工夫（いろいろな方法で） ↓	○机間指導時に、ノート等に表れた児童の考えをみとる ○ノート指導 ・思考の過程がわかる書き方や書く内容を明確に示す ・発問を工夫する。 子どものつぶやきを拾い、ゆさぶる発問 ねらいにせまる切り返しの発問 考えて深めさせるための発問
学び合う	○自分の考えを伝える 友だちの考えを聞く ↓ 相手意識を持って ・既習が明確になる ・㊦マークでよい考えをメモ ・自分の考えを修正・補足 ↓ 黒板に書きながら ・共通点、相違点、きまりで比較・分類・整理 ↓ ・話し言葉と書き言葉の区別。 ・筋道を立てて説明する。 ↓ よりよい考えに到達 有効性を確認 考えを広げる	○学び合いの進め方を構想 （とりあげ方、指名のしかた、ペア学習導入の有無を学習状況に応じて判断する） ○学びが共有されるようコーディネートする ・ネームプレートでの位置づけ ・とりあげ方の工夫 ・意図的に指名 ・ペア、グループ学習の導入 ・友だちの言葉・式・図などを読み取ったり、解釈したりする活動の重視 低キーワードを明確に ㊦課題に戻って収束に 高児童が自ら整理できたという充実感がもてるようにコーディネート
まとめ	○黒板やノートで 本時をふりかえる 既習を活かすよさや友だちと学び合うことのよさを感じ得 キーワードを見つける力 ここまでで35分を意識しよう！ ○演習の場 「分かった」から「使える」へ	○板書力をつける 思考が見える（視覚化） ・子どもの考え（意見）のまとめ方 ・キーワードの提示のしかた ・ネームプレートの使い方 ○どんな既習を活かして解決できたのかを意識させる ・家庭学習や自学につなげる工夫

2 考えの根拠や筋道を明確にして書くために

- ① 毎日「書く」という活動を授業に取り入れる。(シールやハンコなど認め方を工夫し、意欲を高める。)

課題づくりの場 … 子どもとともにつくる。

・興味を持たせる工夫をする。
教育機器・付箋・写真



自力解決の場 … ノートに書く時間を大切に (早く書けたら、違う考えはないか)

言葉 (文字) だけでなく、図・表・グラフ・記号等、教科に応じた適切な表現を用いる。

分からない、困ったこと
などもノートに書く。



学び合いの場 … 考えの根拠を説明するために必要な言葉を意識させる。(チョークで色わけして)

(低) 何が大切なのか、同じところと違うところは何かを、しっかり聞く。

(中) 話し合いで分かった大切なところを写す。

(高) 黒板に書きながら説明する。

説明を聞きながら、必要に応じて大切な言葉 (キーワード) をノートに
書いていく。

キーワードを見つける力
をつけていく。

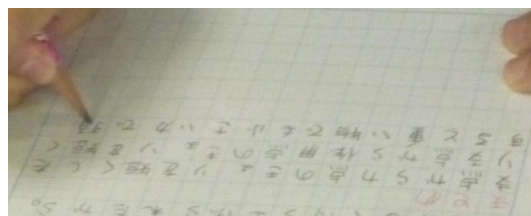


まとめの場 … どの子も達成感が持てるよう、書き方の例を示してまとめさせる。

(低) 大切な言葉を穴うめしてまとめる。

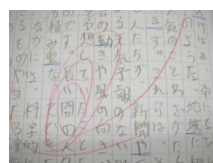
(中) 黒板に書いてあるキーワードをつなげてまとめる。

(高) 大切な言葉は何かを考えて、自分でまとめる。



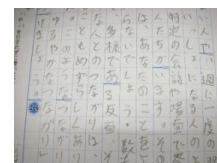
- ② スキルタイムに、書くスピードをつける。(速く、美しく)

「うつしまるくん」「名文スキル」の活用



1学期

書く字数の増加



3学期

3 多様な観点から思考・判断し学び合いをするために

- ① 1日1回は発言できるような課題や問題を与える。(児童は「1時間に1回の発言」をめあてにする)

- ・ペア学習やグループ学習で話す場を (ペアやグループの作り方の工夫・雰囲気づくり)
- ・目的意識をもたせて (だれに、何のため、声の大きさは)
- ・間違いを生かした授業を (間違いのおかげだよ)


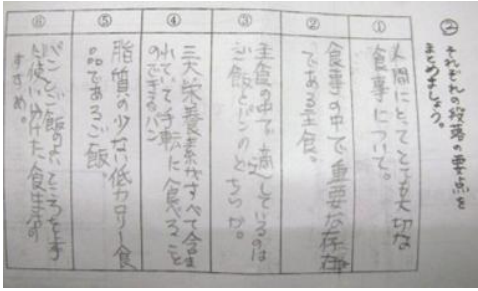


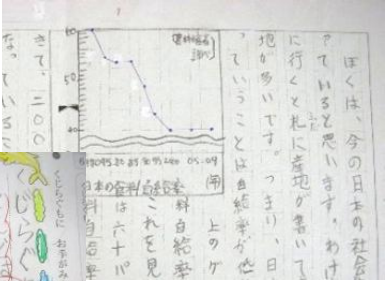
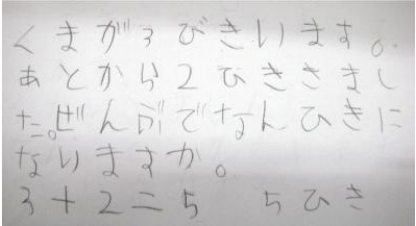
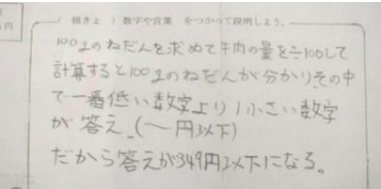
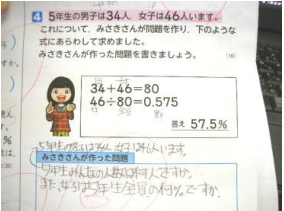
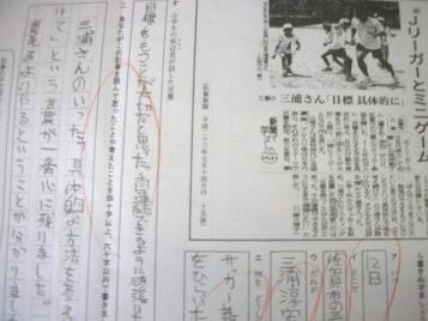

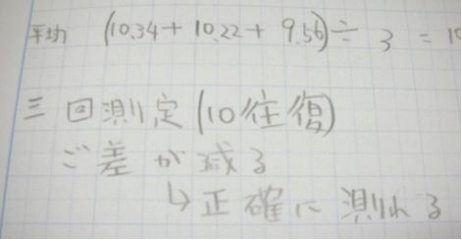
よい人間関係を作っていく。



- ② 「聞く力」をつけるために

- ・「納得したこと」「疑問に思ったこと」「聞いてみたいこと」を明らかにして聞く。
- ・自己との対話をしながら聞く。
- ・聞くための目的意識を持たせる。

4 学び合ったことを使える学力にするために

国語	場	算数
<p>○学び合ったことを短文でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none">・キーワードをうめて・キーワードをつなげて・制限された字数で <p>○学習感想を○行で書く。</p> <p>○ふきだしに書く。</p> <p>○要点を書く。</p>   <p>○友だちの書いた文を推敲する。</p> <p>○メモから話し言葉へ、そして書き言葉へと直す。</p> <p>○書き言葉からメモへ、そして話し言葉へと直す。</p>	<p>一時間の中で</p>	<p>○適用問題をする。</p> <ul style="list-style-type: none">・学習したものと同じ形式で解けるもの <p>○発展問題をする。</p> <ul style="list-style-type: none">・学習したものをを使うが、形式が変化したもの <p>○友だちの考え方を使って解く。</p> <p>○第1課題をして、第2課題をする。</p> <p>○早く、簡単に、正確に、どんな場合も使える方法を見つける。</p>
<p>○意見文を書く。</p> <p>○お手紙を書く。</p> <p>○お話の続きを作る。</p>    <p>○レポート・パンフレット・ポスターでまとめる。</p> <p>○スピーチをする。</p> <p>○音読発表会をする。</p> <p>○他教材を提示し、学んだことを活用して課題に取り組む。</p> <p>○県・全国の学力テストの問題に取り組む。</p> <p>○活用力をはかる評価問題に取り組む。</p>	<p>単元の終わりに</p>	<p>○問題を作る。</p>  <p>○条件過多、条件不足の問題に取り組む。</p> <p>○複数の資料を関連づけて説明する。</p> <p>○根拠を説明する。</p> <p>○根拠を書く。</p> <p>○県・全国の学力テストの問題に取り組む。</p> <p>○活用力をはかる評価問題に取り組む。</p>  
<p>○日常的に書く機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none">・日記（事実を1行、感想を1行の日記など）・記録文（生活科や理科での観察記録・実験記録 社会科での見学記録など）・新聞記事(投稿文等)を読み、 内容をまとめる。・新聞記事(投稿文等)を読み、 自分の意見を書く  	<p>他教科や日常生活で</p>	<p>○社会の資料の読み取りに生かす。</p> <p>○理科で実験結果を考察する時に生かす。</p>  <p>○委員会などの活動で生かす。</p>